

相馬市公共施設等総合管理計画

個別施設計画

(スポーツ・レクリエーション系 スポーツ施設等編)

令和7年3月

相馬市

所管課

教育委員会生涯学習課、総務課、都市整備課

第1章 概要

(1) 目的

本計画は、「相馬市公共施設等総合管理計画」（平成29年3月策定、令和6年3月改訂）に基づき、施設類型ごとに具体的方針を示すものです。

(2) 対象施設

- ① 本計画は、「相馬市公共施設等総合管理計画」に定める「スポーツ・レクリエーション施設」の施設類型の「スポーツ施設等」の全ての施設を対象とします。
- ② 「スポーツ施設等」は、主に市民がスポーツ・レクリエーションを行う施設を対象とします。
- ③ 本市所有資産（建物等）による施設のほか、借用物件や複合施設等を含みます。

(3) 計画期間

令和6年度から令和10年度までの5年間とします。

ただし、社会情勢等により、変更が生じた場合は、都度見直しを行い、本計画へ反映させるものとします。

(4) 計画の進行管理

今後は、本計画に基づき、毎年度PDCA管理して計画の進捗管理を図ることにより、施設の見直しや計画的な改修等に努めていきます。

第2章 公共施設等の現況及び将来の見込み

(1) 保有施設の状況

① 施設一覧表

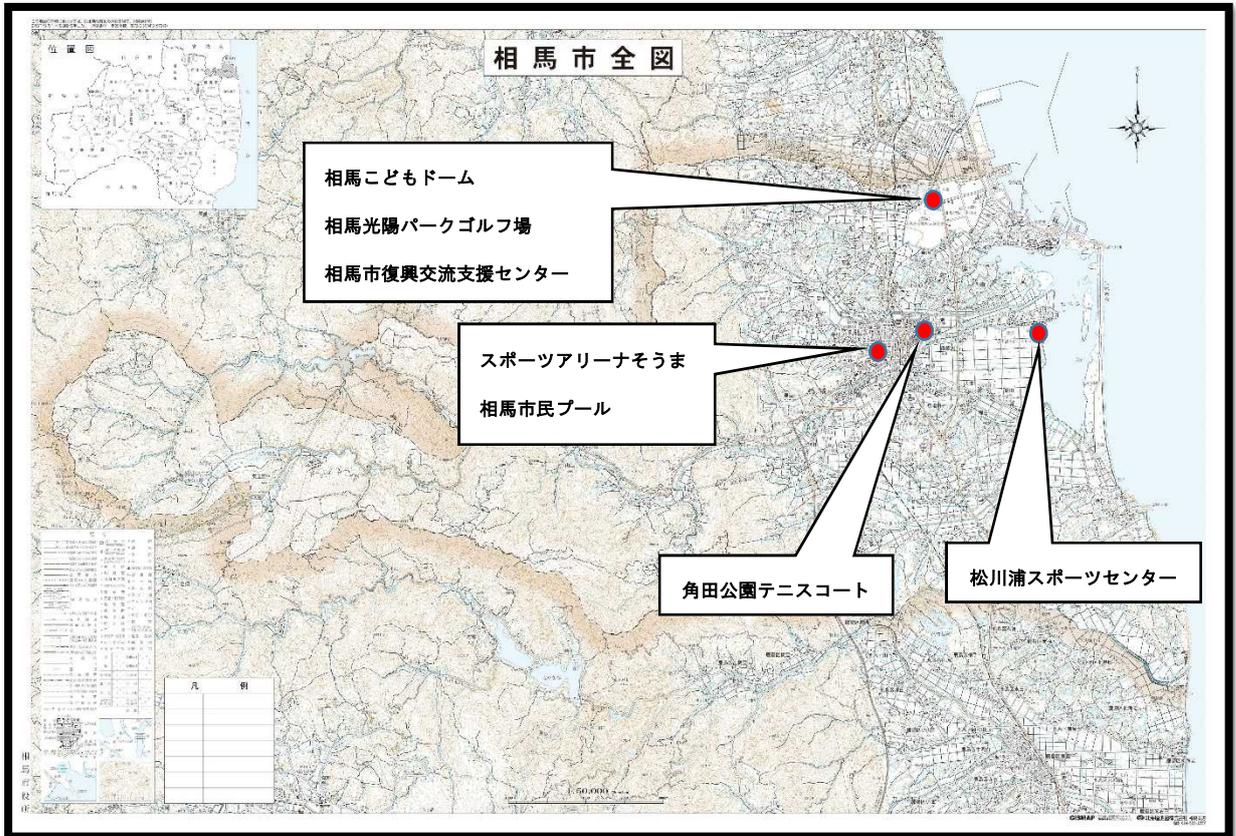
No.	施設名称	所管課	運営	所有	建築年度	経過年数	耐用年数	構造	延床面積 (㎡)	耐震	備考
1	スポーツアリーナそうま	生涯学習課	直	市・主	H10	25	47	SRC	2,995.84	○	
2	相馬市松川浦スポーツセンター	生涯学習課	指	市・主	S57	41	47	RC	2,122.30	○	
3	相馬こどもドーム	生涯学習課	直	市・主	H26	9	34	s	1,176.00	○	
4	相馬市民プール	生涯学習課	直	市・主	H29	6	47	RC	1,464.75	○	
5	相馬光陽パークゴルフ場(管理棟)	生涯学習課	指	市・主	H18	17	24	w	136.93	○	
6	相馬市復興交流センター	総務部総務課	指	市・主	H26	9	22	w	630.88	○	
7	角田公園テニスコート(管理棟)	都市整備課	直	市・主	H15	20	24	w	124.7	○	

※令和6年3月31日時点

【凡例】

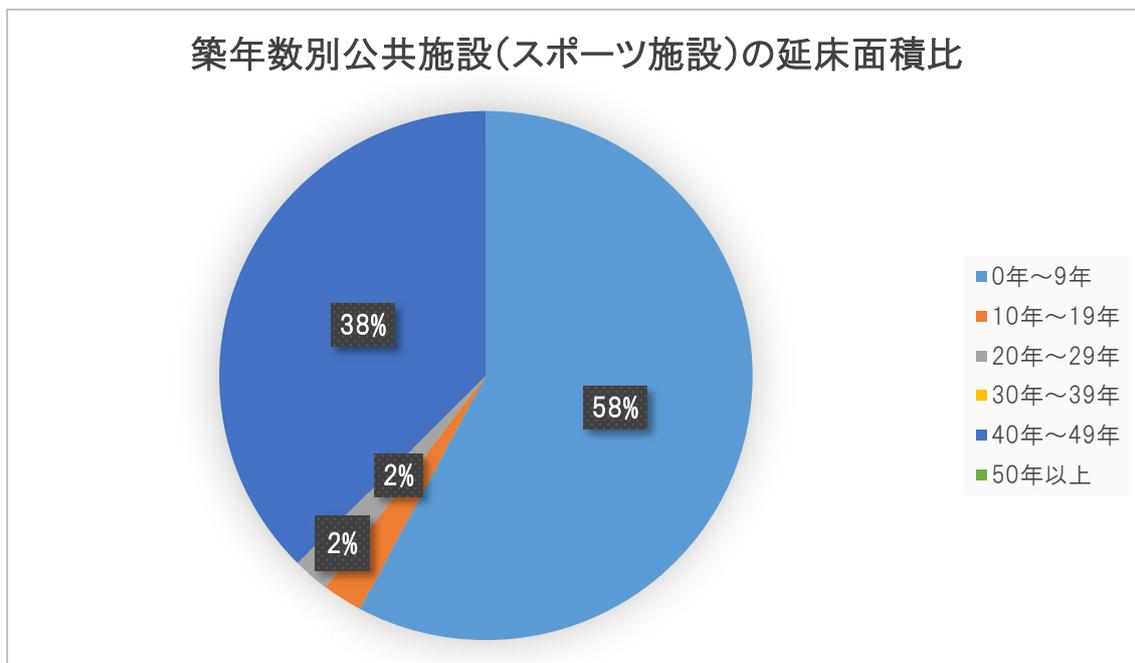
運 営	直＝直営 指＝指定管理 委＝運営の一部を委託（指定管理除く）
所 有	市・主＝市所有建物等で単独施設又は複合施設若しくは兼施設主要施設 市・副＝市所有建物等で複合施設又は兼施設で主要施設でないもの 借 ＝市以外が所有する建物等を借用 他 ＝リース、市以外が所有する建物等の入居部分のみ所有している場合等、その他の手法により調達した建物等
建築年度	複数の棟がある場合は、主体となる建物の建築年度を表示
構 造	RC＝鉄筋コンクリート造 SRC＝鉄骨鉄筋コンクリート造 S・SL＝鉄鋼造・軽量鉄骨造 W＝木造 CB＝コンクリートブロック造 PC＝プレキャストコンクリート造
耐 震	○＝施設の耐震化対象の全ての棟が対応済 △＝施設の耐震化対象の棟のうち一部が未対応 ×＝未対応 ―＝耐震化対象となる棟がない施設
備 考	※＝過去に増改築済の棟を一つの建物に集約した施設。

② 施設配置図



(2) 老朽化の状況

経過年数が20年以上の施設については、老朽化が進んでおります。10年以上の施設や東日本大震災後に建てられた施設も、時間の経過とともに老朽化が進みつつあります。



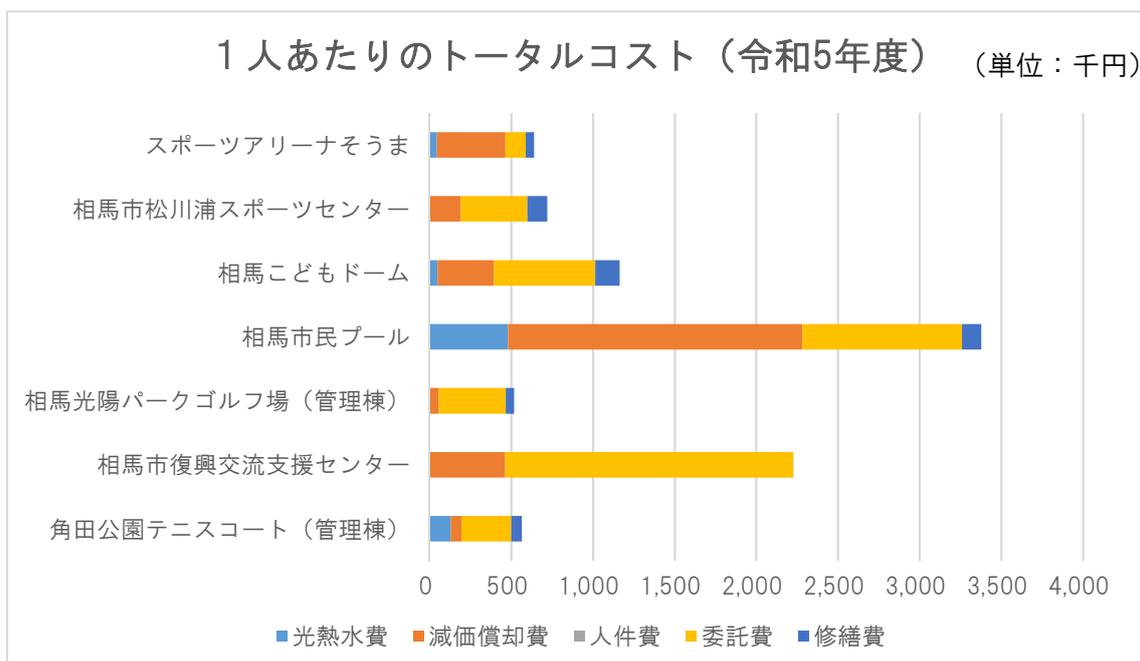
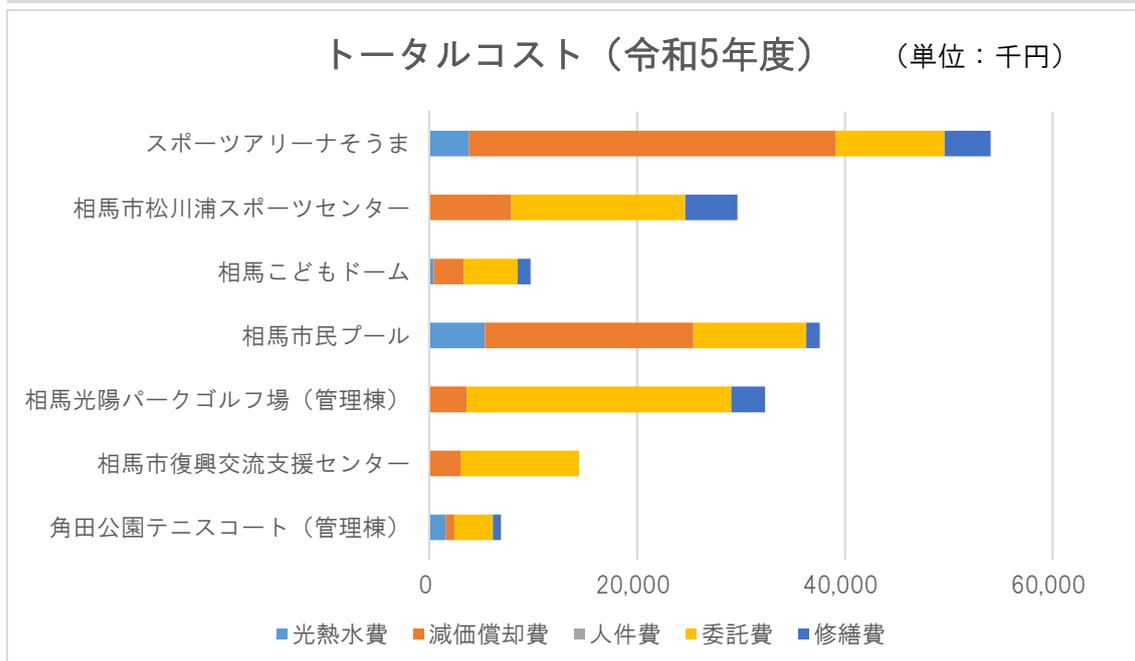
※令和6年3月31日時点

(3) 利用状況・利用見込み

利用者数は、利用形態(種目等)により増減があります。

No.	施設名称	利用状況(来館者数)			将来利用者予測	備考
		令和3年度	令和5年度	増減率	令和10年度	
1	スポーツアリーナそうま	22,427	84,336	376%	85,000	
2	相馬市松川浦スポーツセンター	52,159	41,206	▲21%	45,000	
3	相馬こどもドーム	10,005	8,367	▲16%	11,000	
4	相馬市民プール	10,408	11,133	107%	12,000	
5	相馬光陽パークゴルフ場(管理棟)	63,999	62,359	▲3%	65,000	
6	相馬市復興交流センター	5,812	6,463	111%	10,000	
7	角田公園テニスコート(管理棟)	15,373	12,186	▲21%	15,000	

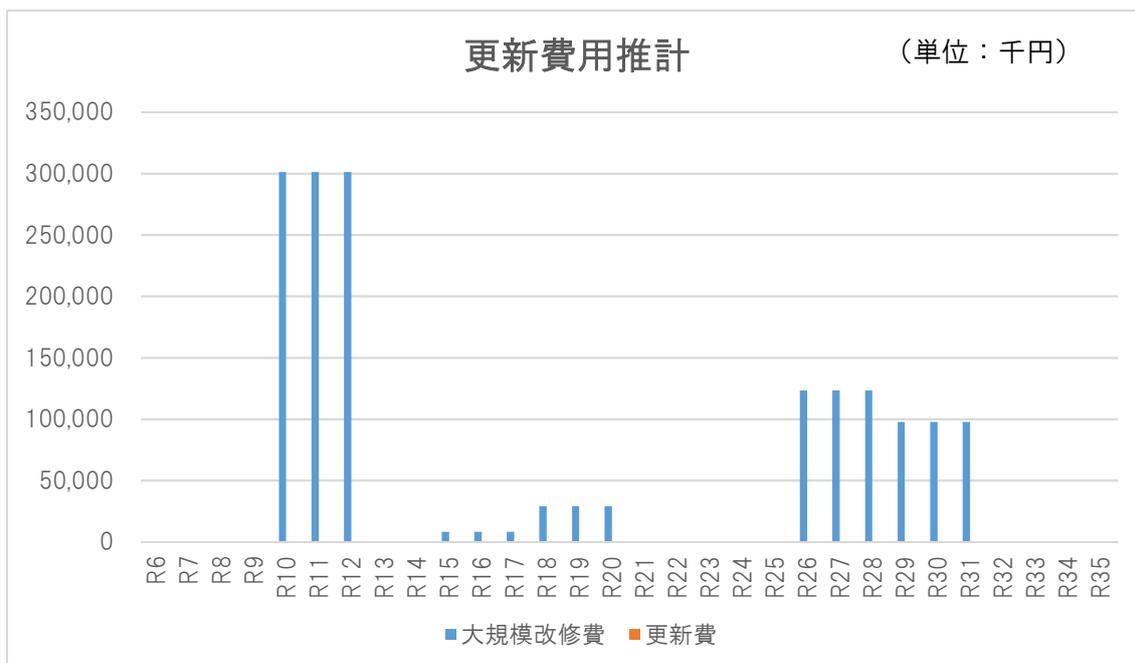
(4) トータルコスト



トータルコストとは、建物等の管理・運営に要する経費で、光熱水費、減価償却費、委託費、修繕費その他の経費の合計額です。
人件費については、委託費に計上しています。

(5) 更新費用の推計

現在あるスポーツ施設などをそのまま維持するためには、30年間で約167,000千円の更新費用が見込まれます。一方で、令和3年及び4年の地震災害の影響から一部の施設では災害復旧による大規模な修繕が実施されており、更新費用が計画から変わることも想定されます。

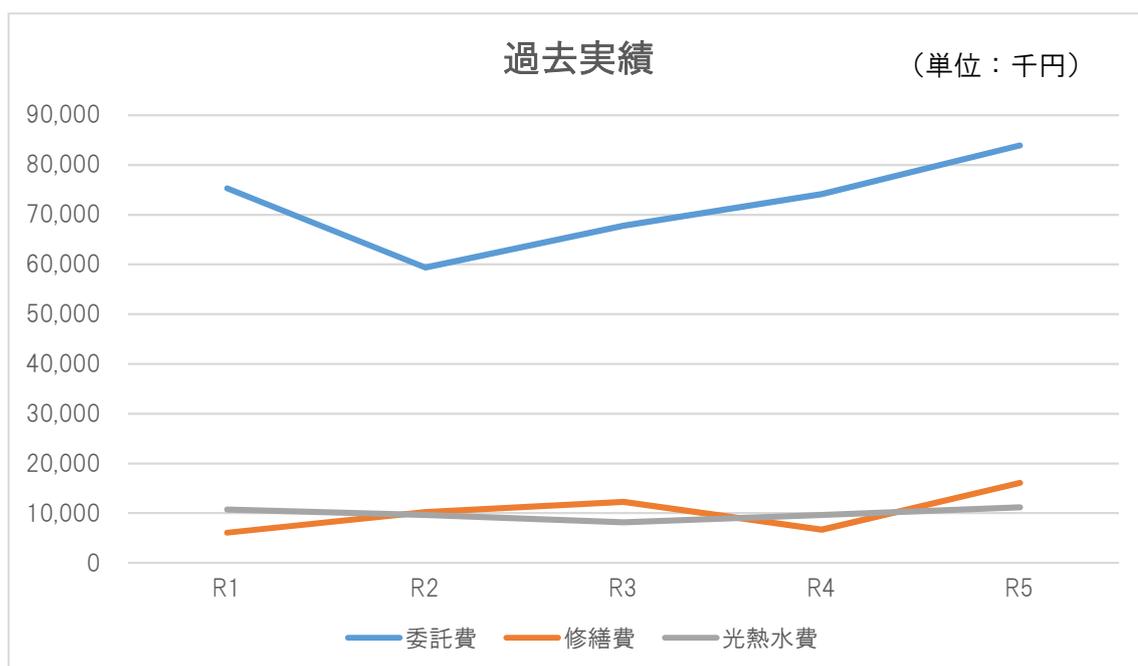


30年間合計額	1,678,554千円 (年平均 55,952千円)
令和6年度～令和10年度までの合計額	301,170千円 (年平均 60,234千円)

※更新単価については、総務省により開発された更新費用試算ソフトで用いている単価を使用。具体的な内容は『相馬市公共施設等総合管理計画』P23～P24の「5. 公共施設等の将来における費用の見込み」に掲載しています。

(6) 過去実績（維持管理費）の推移

過去5年間の維持管理費の平均額は92,000千円であり、令和元年度以降、令和5年度までにほぼすべての施設で維持管理費が増加しています。これは、エネルギー価格の値上がりや人件費の拡大による委託費（指定管理料）の増加の他、施設の老朽化等に伴う修繕料の増加などが影響しており、それらは今後とも増加することが想定されます。



第3章 施設類型別マネジメント方針

(1) 施設の役割

スポーツ施設は、市民がスポーツ・レクリエーションを行い健康増進の場としての役割を果たす施設であり、地域のスポーツ活動の施設となっています。また、災害発生時には、地域住民の応急避難所としての役割を担う施設です。

(2) 現状と課題

- ① 東日本大震災以降に建設した施設も、令和10年までにすべて10年以上経過することとなります。今後は、補助金や交付金などを活用しながら大規模な修繕を行うことが必要となります。
- ② 利用者の安全・安心の確保の観点から、迅速な施設の修繕を行うとともに、存続する施設については、老朽化対策を含めた施設の長寿命化に取り組むことが必要です。
- ③ 施設の維持管理費を抑えるため、LED照明への交換なども検討する必要があります。

(3) 今後の施設の在り方

老朽化が進んだ施設は、大規模改修などの検討が必要になります。その際は、公共施設等総合管理計画に基づき、施設長寿命化、維持管理コストの縮減、施設の最適化及び利用者の安全確保に取り組む他、利用者の状況によっては施設の休止及び廃止も検討していきます。

- ① 点検・診断の実施方針
PDCAサイクルに基づき、定期的な点検や診断で得た情報を記録・管理（点検・診断・対応・記録）し、次回の定期的な点検・診断等に活用して必要以上の修繕をなくします。
- ② 維持管理・更新等の実施方針
災害等の突発的な原因による維持補修については、施設の需要を見ながら優先度を明確化して計画的に実施していきます。

- ③ 安全確保の実施方針
施設の老朽化や定期的な点検等で安全性に問題がある場合は、早急に対策を検討し、安全の確保を図ります。
- ④ 長寿命化の実施方針
また、定期的な点検を実行するとともに、早期に改修や更新の計画を立て（予防保全）、特定の年度に費用が集中しないように努めます。
- ⑤ ユニバーサルデザイン化の推進方針
施設の改修や更新の際には、ユニバーサルデザインの考え方に立ち、広く利用者が利用しやすい施設を目指します。
- ⑥ 脱炭素化の推進方針
施設の改修や更新等の際には次のことを実行するよう努めます。
- ・ 冷暖房や給湯・照明機器等の効率化
 - ・ 設備を更新する際は、省エネ性能の高いもの選定
 - ・ 物品、エネルギーを調達する際は、環境に配慮したものを選択
 - ・ 再生エネルギーの活用
- ⑦ 統合や廃止の推進方針
委託費等の運営費や施設の利用状況を総合的に判断し、施設の廃止・統合・複合化・転用を検討します。

(4) 個別施設方針・検討開始年度

No.	施設名称	評価	建物	サービス	検討開始年度	備考
1	スポーツアリーナそうま	継続	A	A	次期計画	
2	相馬市松川浦スポーツセンター	継続	B	A	次期計画	
3	相馬こどもドーム	継続	A	A	次期計画	
4	相馬市民プール	継続	A	A	次期計画	
5	相馬光陽パークゴルフ場(管理棟)	継続	A	A	次期計画	
6	相馬市復興交流センター	継続	A	A	次期計画	
7	角田公園テニスコート(管理棟)	継続	A	A	次期計画	

【凡例】

評 価	<p>民間活用＝市以外でもサービス提供が可能</p> <p>多機能化＝専門の建物・部屋等が不要</p> <p>集約化＝他施設に類似用途の部屋あり又は、独立施設の必要なし</p> <p>継続＝現状のまま継続</p>
建 物	<p>主体建物の築年数や改修状況、耐震性能の有無等を勘案して判断。</p> <p>A＝比較的良い状態</p> <p>B＝老朽化が進行している状態</p>
サ ー ビ ス	<p>類似施設間での施設稼働率や利用者数、地域の人口推移等を勘案して判断。</p> <p>A＝利用状況が良い</p> <p>B＝利用状況に課題がある</p>
検討開始年度	<p>当該施設又は近隣施設の改修・建替時期や期間終了などの時期に合わせて設定。</p> <p>方針については、建物、サービスの状況を調査したうえで、①民間活用、②多機能化、③集約化・複合化、④継続 等、市民や利用者とともに具体的な方針を検討していきます。</p>
備 考	<p>決定事項や、記載しておかなくてはならないことを記載。</p>